

だんだん便り

第25号

2019年11月10日

一般社団法人だんだん会

408-0035 山梨県北杜市長坂町夏秋 918-5

- ・法人本部 0551-45-9566
- ・地域看護センターあんあん 0551-30-7505
- ・定期巡回てくてく24 0551-30-7787
- ・オレンジサロンわいわい白州・長坂 0551-45-9566

- ・グループホームわいわい白州 0551-30-7566

408-0315 山梨県北杜市白州町白須 1023

- ・わがままハウス山吹 0551-45-6323

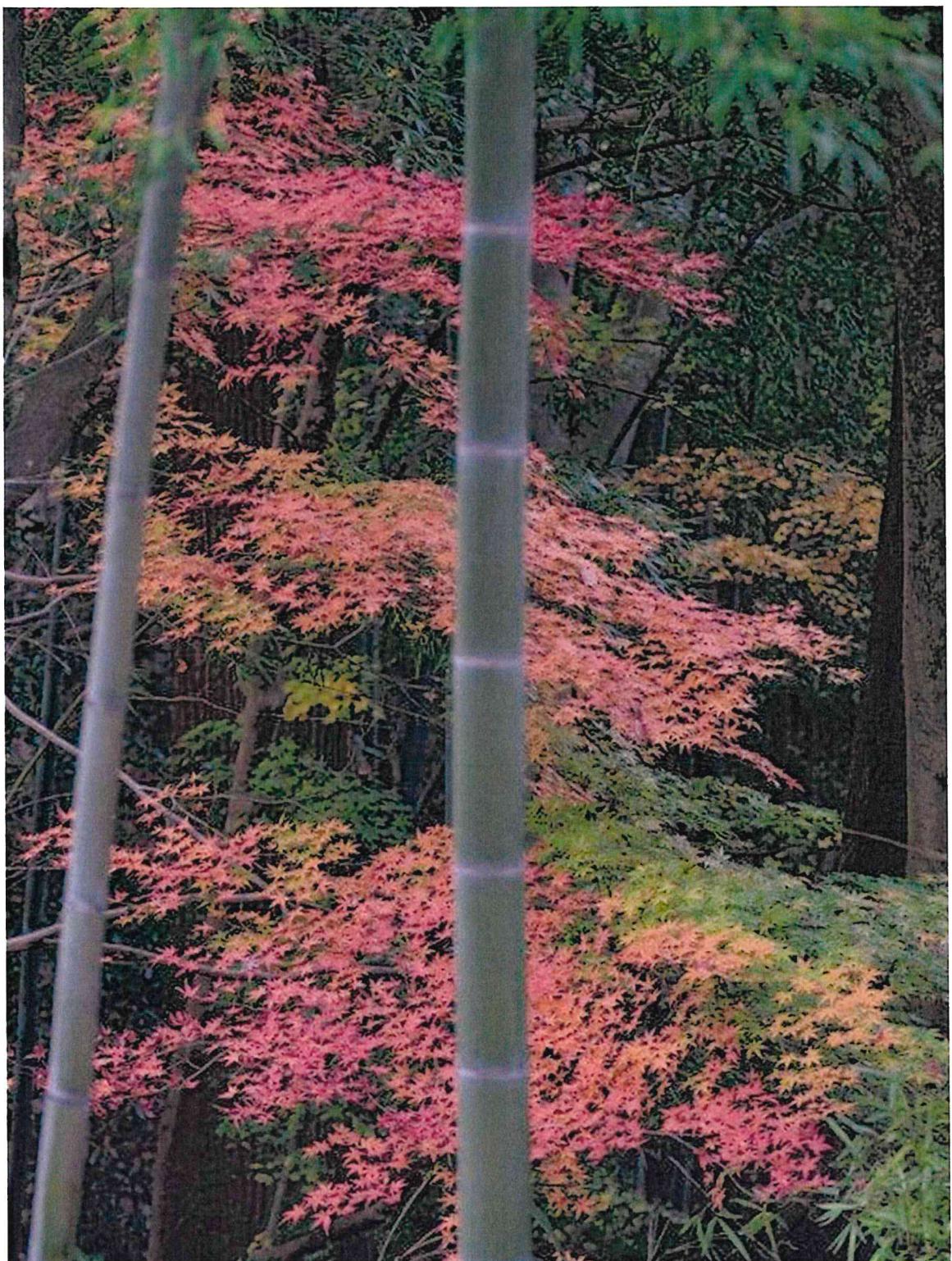
408-0044 北杜市小淵沢町10123-2

錦秋

昇仙峡最深部にあります金桜神社境内のもみじです。
竹林に今とばかりに、彩り輝いていました。

甲府市昇仙峡にて

小山茂



グループホームわいわい白州（秋の小旅行）



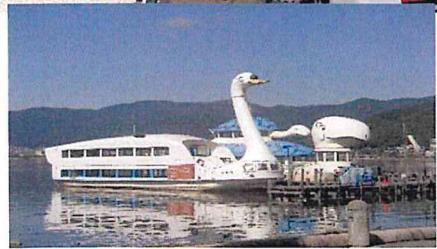
第二回 秋の小旅行



10月16日（水）行楽の秋。“わいわい白州”的皆さまとご家族、ボランティアの方で諏訪にバス旅行をいたしました。ぬけるような青空。好天に恵まれ（晴女♡晴男ぞろい）で万歳♪楽しい日帰り旅行が出来ました。



ご家族と久しぶりのお出かけ♡
笑顔が眩しい！



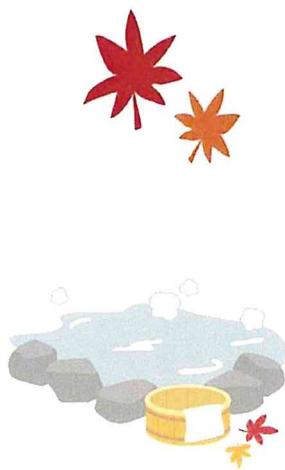
グループホームわいわい白州（秋の小旅行）

諏訪湖一周の遊覧船に乗って

諏訪湖のルーズ山が綺麗♪



昼食はランチバイキング
スイーツも食べ放題
デザートは♡別腹♡



わがままハウス山吹（支援付き共生すまい）

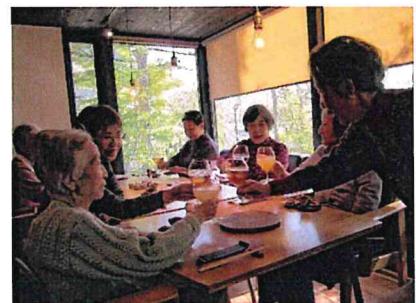
木々の色付きが鮮やかになり、小淵沢の秋が深まってきた。夏の喧騒とは異なりますが、まだたくさんの方が訪れ、大自然の中の秋を満喫されているようです。

オープン以来6か月、10月には新たな入居者が加わって、緊急用の部屋を除き残りも一室となり、“わがままハウス山吹”はますますにぎやかになってきました。現在70代から90代の方々が生活されています。最高齢はナント98歳！出身地は、北は北海道から南は岡山。八ヶ岳が大好きで新潟から来られた方もいます。県内出身の方は3名、そのうちの2名の方は中学時代の同級生。十数年ぶりの再会となったお二人が抱き合い、涙する場面には私達もその偶然に驚きました。

さまざまな人生を歩んでこられて、ここ“わがままハウス山吹”に集われた皆さん。ここでの生活に新たな希望を見いだしたくて、「エイッ」とばかりにご自身で決断され踏み出されたようです。今回は皆さんの“幸せとは何か”を通して、『共に生きる』を考えます。

「アルコールがなくっちゃ！」

長い間薬剤師として勤務してきた82歳。ずっと生活習慣で飲酒を続けてきました。“山吹”に来られてからも「アルコールがなくっちゃ私の人生じゃない！」と、毎日夕食後のビールを楽しめてきました。ところが近頃「なんだかこの頃飲まなくても済むようになったのよね…」とおっしゃるのです。



「今日は電車に乗ってお出かけよ！」



軽い認知症がある80歳。学生時代のお友達に会いに東京へ出かけます。小淵沢発9:24の“あざさ”に乗って出かけ、15:00 小淵沢に帰る旅程です。少しずつ時間や地理の感覚が曖昧になってきているので、お出かけの際にはキッズ携帯と“山吹”的住所を書き込んだカードを持参してもらいます。お友達やご家族、周囲の温かい支援のもと、『行ってきます』とお出かけです。

「ここは避難所よ！」

二世帯住居にご家族と暮らしている98歳。現在自宅リフォーム中とのことで、週3回“山吹”にいらっしゃいます。「工事の音がうるさくてね、うかうか寝てられないのよ。ここは私の避難所なのよ。リフォームが終わるまでと思っていたけど、冬の寒い間はずっとここに居ようかしら。暖かいし、お食事もおいしいし、、何より皆さんとおしゃべりできるもの。」見事にご自身の意志で決定されています。



わがままハウス山吹（支援付き共生すまい）

「暇よ！何かすることは無い？」

70代半ばの元美容師さん。「体を動かしたい！」と朝に夕に散歩に出かけます。

ある雨の日、「運動がしたくなった！！」「バドミントンやる！！！」と玄関ホールでバドミントン。ほかの皆さんも寄ってきて、「ほお～っ」感心され、椅子にすわったまま参加される方も。元美容師さん、時折“山吹”でカットの営業をされています。

「やめておくね」



車いすで生活されている94歳。

「お風呂に入りましょうか」「今日は寒いねえ、やめておくよ」

「リハビリしましょうね」「今日はやらないよ」

「飴をいかがですか」「じゃあ行こうか」

姪御さん曰く「ここに来てから嫌な事は『いや！』と言えるようになった」そうで。

「うるさいなあ」

朝から食堂は言葉が飛び交い、それはそれはにぎやかです。97歳の方が「うるさいなあ・・」と一言。一瞬静かになりますが、すぐに元の木阿弥状態。「食事は静かに食べたい。私は間違っていませんよ！」とご本人は一本すじを通していきたいと思っています。

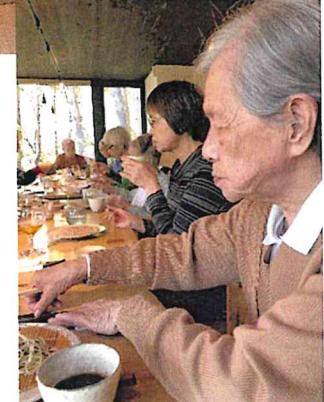
「今日の晩御飯は美味しかった」とか、「あの人とおしゃべりができるよかったです」とか「お風呂が気持ちよかったです」とか、日常生活の小さな歓びや感動を大切にして生きる事が“幸せ”に繋がるよう思います。“その人にとっての幸せとは何か？”を試行錯誤しながら、“共に生きる”皆さんに寄り添っていきたいと思っています。
(寄り添いスタッフ石川由美子)

神様から選ばれた人！？

ある入居者が「私、みなさんに御馳走したいの」と、素敵なお店に招待してもらいました。入居者全員と職員で13名。ほぼ貸し切り状態。

その方の言葉。「ここ（わがままハウス山吹）は、本当にいいところ。いろいろなデイサービスのようなところに出向いたけれど、私、あういうところだめなの。ここはなんだかいいのよ。心のきれいな方々の集まり。おしゃべりも素敵。ここを利用できる人は、神様から選ばれた人だと思うわ」と。

超美味しい御馳走でした！



オレンジサロンわいわい白州・長坂・こぶち



＜サロン小淵沢＞

紅葉の見頃は始まっています。北杜の周辺でも色づきが気になります。
これまで見た紅葉で、思い出に残っている感動の紅葉の場所はどこでしょうか？

Rさん：ご主人と見た「カナダ」の紅葉。忘れられない！紅葉した木々の中でたった
2人きり・・（絵になるなあ）

Oさんご夫婦：北海道の紅葉ですね！（お二人ともお口揃えて）

Mさん：（控えめに）錦秋の京都かしらね（私も同じ）

Iさん：（登山）頂上から眼下に見える紅葉はどこもきれいだった。

ボランティアOさん：（東京からの移住）桜の葉の紅葉は初めてでした。

皆さんのこれまでの歴史を感じながら感動したいい時間でした。



＜わいわいサロン白州＞

三日間お疲れ様でした。

あずま袋とアクリルたわし・・・計72個販売いたしました！！

天候が今一つでしたが、来場者は5万人（主催者発表）今年も盛況でした。

行き交う方にお声掛けしながら、楽しく触れ合い、笑い、出会いに感謝しながら感動の
「台ヶ原宿市」でした

宿市、販売テントと往来の様子



＜わいわいサロン長坂＞

今日は何しましょうかね・・

ボランティアが庭の柿を取ってきて「これ甘がきたよ」「どれどれと・・」食べたところ
「半分は渋柿でした」 どこからか「前は、渋柿は干し柿にしていたなあ」と。
そこで、木から柿を取ってきて早速干し柿にしてみました。



皮むきもお手のもの。少しですが次回は食味です…

地域看護物語

暇つぶしは生き甲斐に！

地域看護センターあんあん　浅見玲子

ここで紹介している写真はすべて今井次郎さん（75歳）の木工細工の作品です。素敵ですよね。どの作品も生き生きとした力強さを感じます。今井さんのご自宅にはまだまだたくさんの作品たちが所狭しと集まっていて楽しいおもちゃ箱！　どの作品もまるで言葉を持っているかのように私の心に語りかけてくれます。月1回の今井さんへの訪問はこころ弾みます。



始めて今井次郎さんにお会いしたのは1年ほど前のことです。

今井さんのお住まいは別荘が数件とキャンプ場があるだけの山間部です。

リビングに座って出迎えてくださった今井さんは凛とされていて「佇まいの美しい方」と思ったのが第一印象です。

脳出血、脳梗塞の後遺症で右の麻痺があり日常生活動作に困難がありますが十数年前に奥様を亡くされてからも、一人で生活しています。後遺症があるのでゆっくり丁寧に言葉を紡ぐようにお話しなさる今井さん。



「友人からは、こんな山の中で一人暮らしなんて無理だ！早く息子のところへ行けって言われるけど、変人って思われてもここで暮らしたい」

月1回の全身状態のチェックと足浴や爪切りなどのケアを行っていますが今井さんとは「緊急時訪問看護」の契約をしているので、24時間365日なにかあれば、看護師が駆け付けます。これまでに2度緊急コールがあり、かけつけて支援をしています。その速やかな対応が今井さんの「なにかあればあんあん」安心に繋がっています。



今井さんご夫婦は20数年前に移住してこられ、宿泊ロッジと木工細工を販売して暮らしていました。平成25年に脳出血発症から入院生活が続き一時中断していましたが、沢山の未完の木工細工を一所懸命に夢中で取り組むようになりました。かつては木で形作るのは今井さん、そこに絵付けをするのが奥様

今では奥様だったらどんな風に絵付けをするかなあと思いながら今井さんが絵付けもします。今でも夫婦二人三脚は続いているんですよね。

「最初は、時間はいくらもあるから暇つぶしに考えていましたけどこんなに夢中になれることがあるのはしあわせだね。暇つぶしは生き甲斐だ」

「安楽死ってことを考えることもあったけど、訪問看護師さんに会えて良かったと思うよ。なんとかみんなの力を借りて暮らしていく」



いろいろのご縁あって、今年の台ヶ原宿市に今井さんの作品を出展して多くのお客様の反響がありました。「僕はね、まだいろんなことに興味があって挑戦もしたいんだ」そう力強く語る今井さん。

今井さんに出会えたことに感謝！これからもどうぞよろしくお願ひします。

台風 19 号！！ 避難指示・・・

猛烈な台風が来る！！ テレビにくぎ付けになりみんなで見守っていました。わが北杜市にも避難指示。さて、どのように準備するか。それぞれの事業所で対応を検討し、備えました。
だんだん会の事業で被害を受ける可能性があるのは『停電』『倒木』。時に利用者宅の洪水・浸水など。

地域看護センターあんあん

在宅生活している訪問看護の利用者に次のような対応をしました。

- ◆人工呼吸器や吸引、酸素療法の方に電話入れ。
停電時の対応の確認。
- ◆手動の吸引器を持っていない方に、貸出し、実施方法の指導。
- ◆酸素療法の方には、訪問して酸素ボンベへの切り替え方を再度指導確認。
- ◆がけ崩れの危険性のある一人暮らしで歩行障害のある方に電話入れ。 ⇒避難の相談
・・・無事何事のなく台風去る・・・
- ◆事後、確認のため全員に電話入れ。

Ns「大丈夫ですか」

Aさん「近所の人がみんな避難した。僕も誘われたけれど断った。一度座ったら立てないのでトイレにも行けないから」
Ns「どうします？ 心配です。どこかに避難しますか」

Aさん「そうだね・・・」

Ns「先日体験入居した『わがままハウス山吹』に避難したらどうでしょう。勝手がわかっているし」

Aさん「それはいいかもしれないね。」

Ns「了解。迎えに行くように手配します。待ってください」

定期巡回てくてく24

- ◆台風当日訪問ができないかもしれないので、前日にご飯を多めに炊き、作り置きできる総菜を作り、水を多く確保し、全員に訪問して対応策を確認した。
- ◆当日は、大雨でしたがいつもどおりの訪問をしました。



グループホームわいわい白州

風対策。入居者さんに心配ないことを伝え、停電になっても困らないように、廊下にランタンを配置し・・・。水の確保、風呂にたっぷり水を張り・・・。夜勤はユニットリーダーなど責任者。一応万全を。

入居者が住んでいる建物（「グループホームわいわい白州」と「わがままハウス山吹」）はどうするか。

停電でも「食べることができ」、「暗くてもトイレに行けるように」、「トイレを流すことができるよう」。

一応非常時用備品や食料は常備してあるが、不足品の買い出し。ランタン、卓上ガスコンロ、ガスボンベをたくさん、水タンク、湯煎用の食品、乾電池、ラジオなど。

わがままハウス山吹

- ◆通常は 20 時以降は、職員はいないのですが、この日は急遽男性職員が夜勤。入居者の皆さんを守り、建物を守り・・・。安心していただけるように。翌日の食事も作り・・・
- ◆急遽避難してきたAさんもいっしょに、台風に負けないようにタックを組んだ。